



専門書出版社から見た 電子書籍時代の大学図書館への期待

—大学での講義における電子書籍・電子化教材
の利用と大学図書館の役割—

平成25年度 兵庫県大学図書館協議会研究会

株式会社有斐閣
常務取締役・電子メディア開発室長
鈴木 道典

お断り

本講演中、意見にわたるものは鈴木個人のものであり、また計画や将来の構想は、(株)有斐閣の公式の計画・構想でなく、現段階における鈴木道典の個人見解です。

目次

- はじめに一電子書籍・電子化教材の提供についての有斐閣の立ち位置について
- 有斐閣電子出版の歩みと今後の計画
- 電子化で向上する書籍・教材の利便性
- 電子書籍群定額読み放題サービス
- デジタル教科書・教材パッケージ
- セレクト&バインドによる教材作成
- 大学図書館への期待
- 価格——利用者側の論理と提供側の論理

はじめに

- 電子書籍・電子化教材の提供についての有斐閣の立ち位置について
 - 法科大学院創設期から判例教材を選択するための仕組み＝重要判例検索サービスシステム(Vpass)
 - 雑誌に関しては電子化を先行して進めている。
 - 書籍は、「デジタル教科書プロジェクト」を立ち上げ、検討に着手の段階
 - 大学での講義のテキストが中心。
 - リフロー型:ドットブック(ボイジャー)で→ePubでの提供(Knoppy,ブックリスト)
 - スタティック型:pdfで提供
 - 電子書籍の刊行は実験プロジェクト段階
 - 個人的見解であるが、ごく近い将来、書籍の編集・制作は電子と紙と同時に作成するのが普通になる。あるいは電子書籍が先で、その後紙媒体で刊行という時代に。
 - デバイスの普及は著しい。

弊社電子出版の歩みと今後の計画



(1)

– これまでの提供商品

- DVD製品（ジュリスト，判例百選，法学教室，六法電子復刻版，法律学全集）
- Vpass（判例百選アーカイブ，法律学小辞典，判例六法 Professional，法学教室アーカイブ）
- 有斐閣オンラインデータベース（ジュリスト・論究ジュリスト・判例百選・法学教室電子版）
- 有斐閣YDC1000（法律書古典電子書籍読み放題サービス）
- デジタル教科書プロジェクト（パート1、パート2）
- 紀伊國屋NET LIBRARYへの電子書籍提供（13冊）
- Maruzen eBook Libraryへの電子書籍提供（86冊）

弊社電子出版の歩みと今後の計画



(2)

- 実証実験(予定含む)
 - ジュリスト電子版学認対応
 - 有斐閣YDC1000のOPAC検索連携(慶應大学, 名古屋大学, 神戸大学)
 - デジタル教科書パッケージ(心理学, 社会福祉関係書, 知的財産関係書)←2012年の構想
- デジタル教科書パッケージ提供
 - 特定分野のテキスト・参考書・単行本・論文集等をパック
 - 学部・学科単位での購入
 - 図書館での利用と併用—新たな価格体系と販売方法
 - 出版活動が維持できる価格と利用者利便性の調和
- 講義ごとのメイン・テキストと周辺教材パック
 - 中心となる指定テキストと教材(法令集、判例集、ビジュアル教材等)を電子で提供
 - さらに参照したい文献は図書館で(電子書籍、紙の書籍)

電子化で向上する書籍・教材の利便性



- 4つのサービス提供形態
 - 電子雑誌閲覧サービス
 - 電子書籍群定額読み放題サービス
 - デジタル教科書・教材パッケージ
 - メインテキスト&教材電子書籍パック+図書館所蔵電子書籍
- コンテンツ相互連携(=「叡智の海」の機能)
 - リンク情報の生成・維持・管理
 - 出版社が提供する検索情報システム(=知のコンセルジュ) →
- セレクト&バインドによる教材作成サービス
 - 権利処理—講義で利用する教材のための許諾
 - 教師としての著者
 - 利用するに当たって何の配慮も要らない—権利処理がされているコンテンツ
←出版社が執筆時に処理
 - 電子化コンテンツのセレクト&バインド利用
- メインテキスト(紙と電子)と教材などの連携、さらに図書館蔵書と

(1) Vpassの例

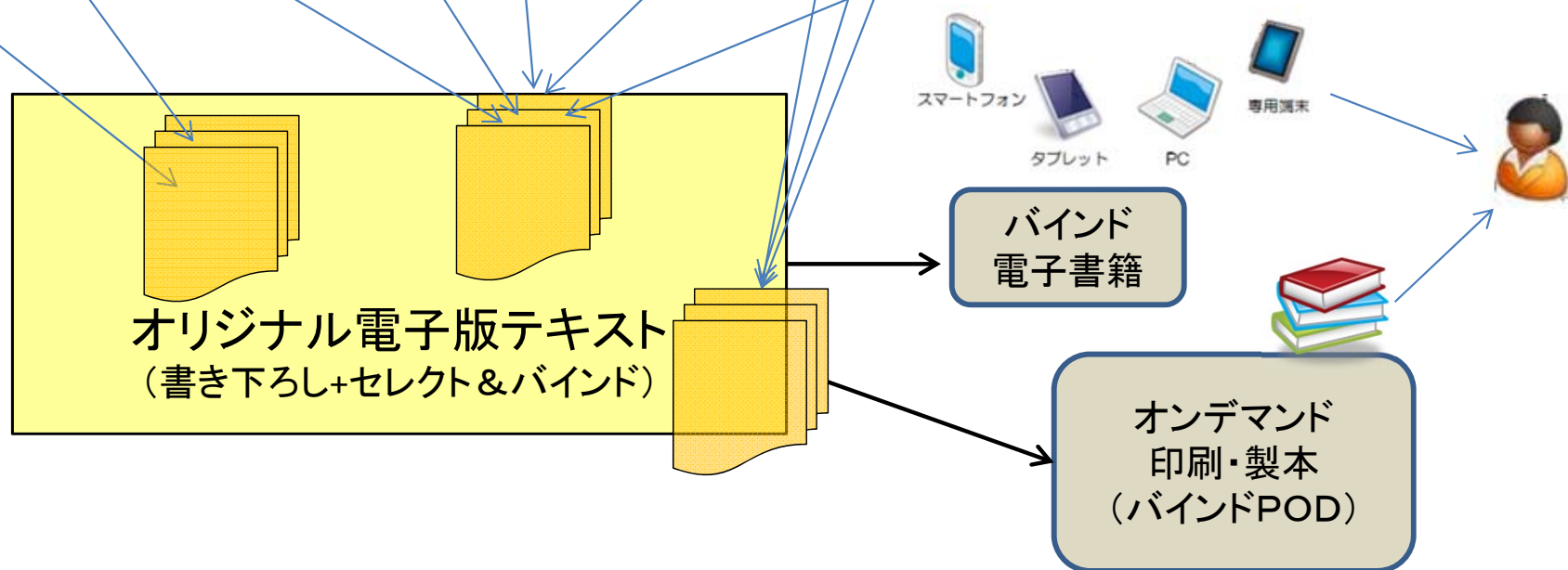
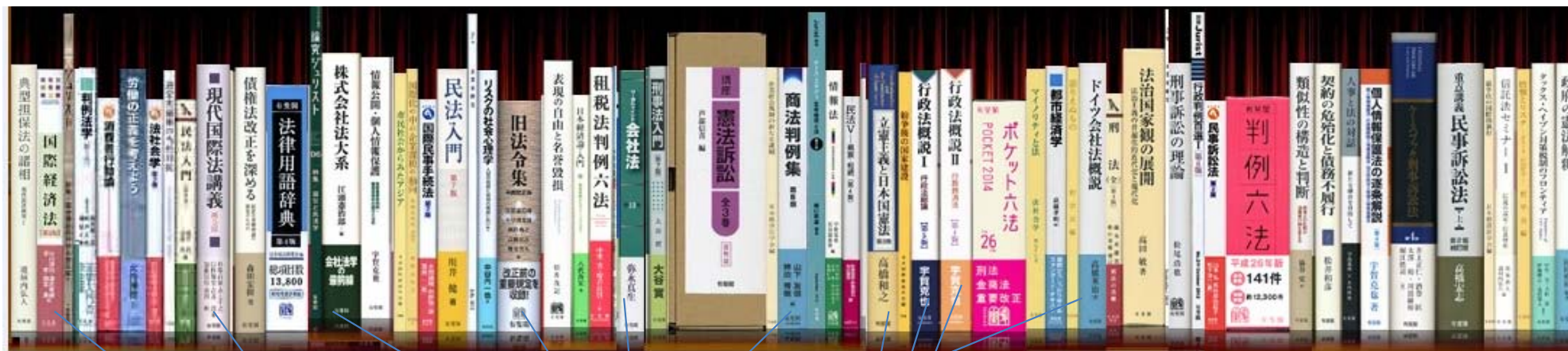
- Vpass (重要判例検索サービスシステム)
 - 法科大学院創設期から判例教材としての裁判例全文を探し出す仕組み
 - <http://vpass.cloudapp.net/UniversalLogin.aspx?ReturnUrl=%2fDefault.aspx>
 - 特徴
 - 他社の判例データベースと接続 裁判例ID
 - 自社の判例評釈文献と接続 文献整理番号
 - 法令判例文献との接続 論文名・ページ(雑誌記事ID)

(2) 有斐閣YDC1000[®]について

- 有斐閣YDC1000[®]
 - <https://ydc1000.yuhikaku.com/e-book/top.do>
 - 特徴
 - 有斐閣の古典(まずは法律書)
 - まだまだプリミティブな段階
 - 理想形—「叡智の海」構想

電子化で向上する書籍・教材の利便性

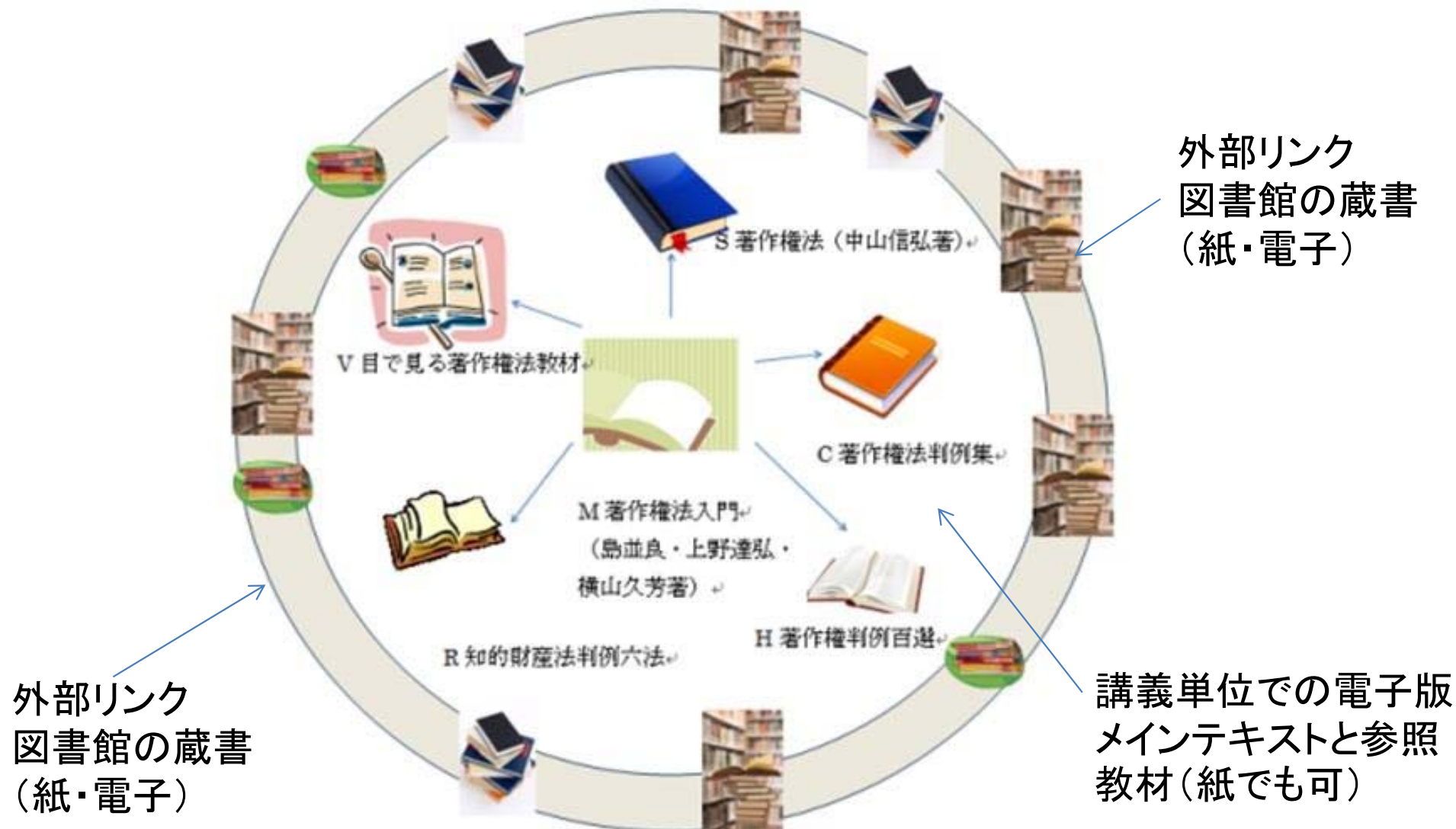
(3)教科書・教材パッケージ



電子化で向上する書籍・教材の利便性

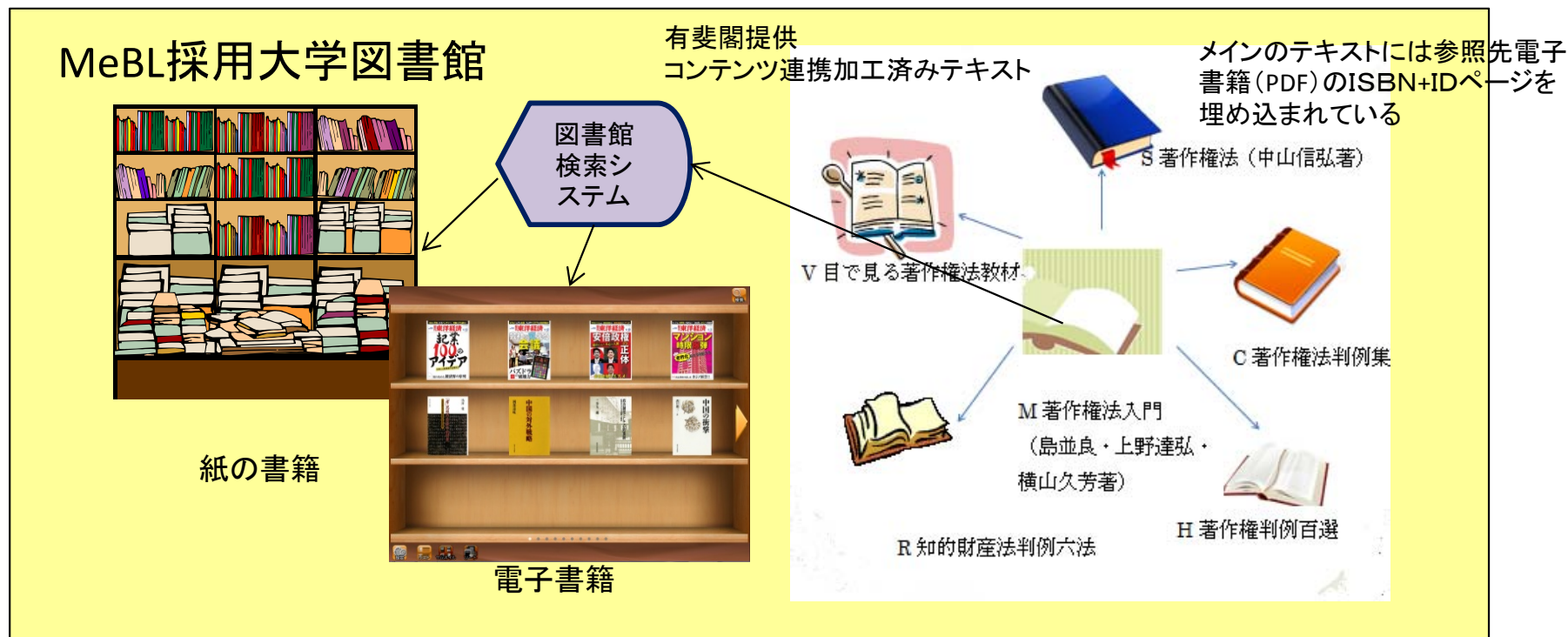


(4) メインテキスト & 教材パック



メインテキスト & 教材パック(1)

- 図書館向け電子書籍サービスとの連携
 - 紀伊國屋NetLibrary
 - Maruzen eBook Library
- 例: Maruzen eBook Libraryとの連携



メインテキスト & 教材パック(2)

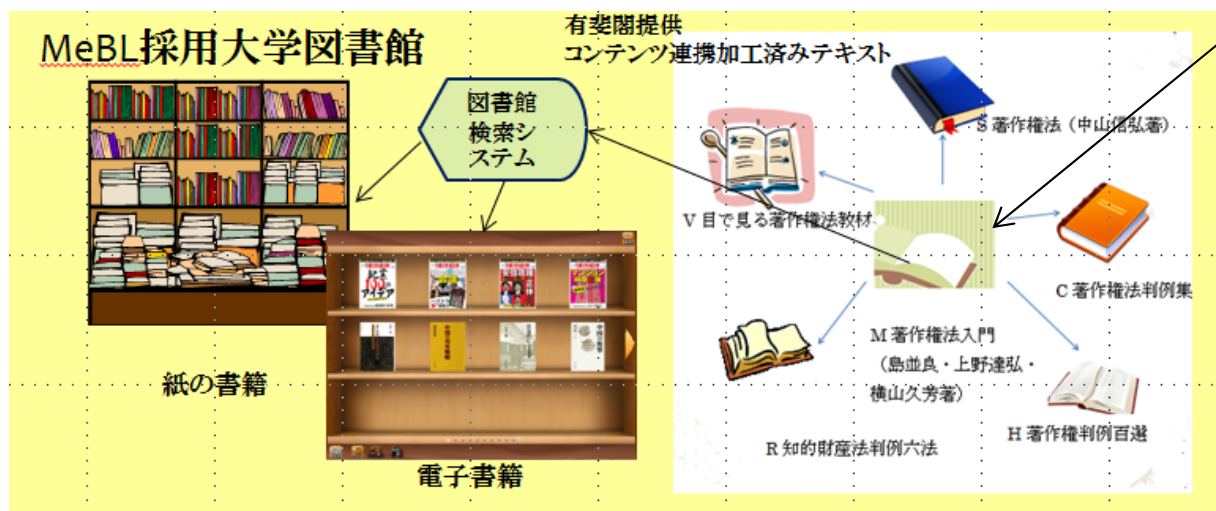
講義使用テキスト

(紙の書籍+電子書籍)

利用者全員が購入する形態

- ・生協+kno社のテキストサービス
- ・Maruzen eTEXT SERVICE

電子書籍の購入者は同一の認証で、講義は紙で、メモはbooklooperなどのマルチデバイスで、レポート作成などはコンテンツ連携テキスト(PC)で利用できる。



専門書出版社の新たな役割



- 一冊一冊の紙媒体の講義用テキストや参考書の刊行から、電子書籍テキスト・参考書・参考文献の供給主体へ
- 「書籍・雑誌の内容の価値」から「プラス利便性」の提供へ
 - 4つのサービス提供形態
 - 電子雑誌閲覧サービス
 - 電子書籍群定額読み放題サービス
 - デジタル教科書・教材パッケージ
 - メインテキスト&教材パック+図書館の書籍(紙or電子)
 - コンテンツ相互連携(=叡智の海の機能)
 - リンク情報の生成・維持・管理
 - » 出版社が提供する検索情報システム(=知のコンセルジュ)
 - セレクト&バインドによる教材作成サービス
 - 権利処理—講義で利用する教材のための許諾
 - » 教師としての著者
 - » 利用するに当たって何の配慮も要らない—権利処理がされているコンテンツ←出版社が執筆時に処理
 - SNS機能
 - ソーシャル・リーディング機能
 - 人的援助システムへの利用

大学図書館への期待(1)

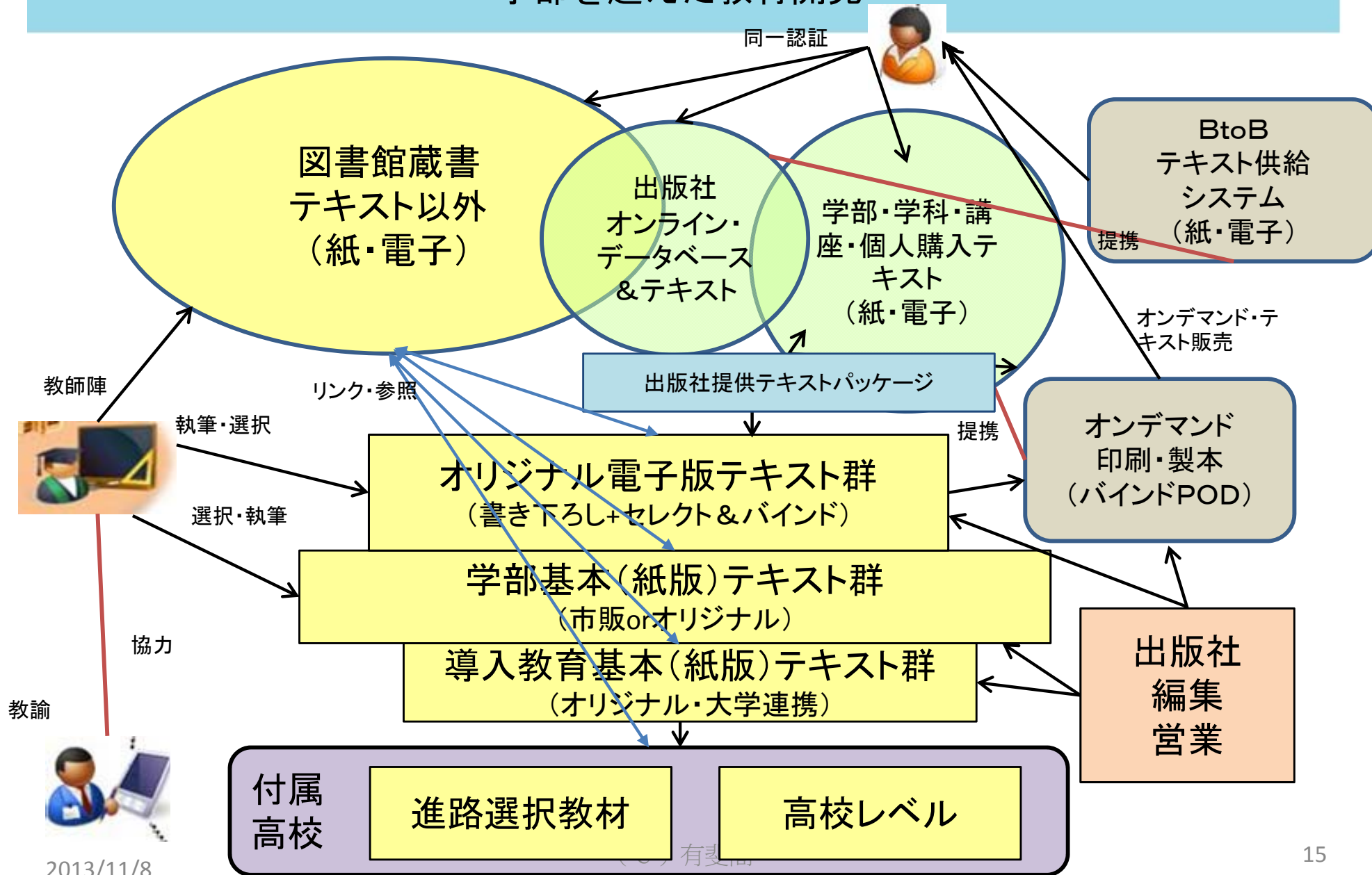


- **メインテキストリンク先としての電子書籍収蔵**
 - 出版社への電子化リクエストを
 - 講義テキストでない単行本、論文集など
 - 管理コストは減少
 - 図書館蔵書としての固定レイアウト推奨
 - 絶対ページでの統一表示(内部の電子的表示)
 - 白ページの扱い、奥付の統一(底本表示など)
- **ISBN以前の書籍のリンク方法の統一**
 - 共通(統合)管理コード+絶対ページ

大学図書館への期待 (2)



学部を超えた教材開発



大学図書館への期待(3)



- ラーニング・コモンズとしての図書館
 - 高度に発達した情報検索から情報利用の方法を援助
 - 「ネット世代の学習支援を行う図書館施設もしくはサービス機能」(東北大学附属図書館・米澤誠氏「動向レビュー:インフォメーション・コモンズからラーニング・コモンズへ:大学図書館におけるネット世代の学習支援. カレントアウェアネス. 2006 no.289 p.9-12)
 - 学部用・学科用に教科書・教材パッケージを蔵書に
 - 特定学部・学科での導入を全学部の財産に
 - 高度に連携した書籍群の利用者への提供主体
 - 最も重要なこと=人的支援
 - 井上真琴. 「学びのマネジメント」を支援する. IDE現代の高等教育. 2009, no.510, p.12

サービスの価格について

—利用者側の論理と提供側の論理—

- 専門書の本作り・図書館への供給のアクター
 - 著者
 - 出版社(企画・編集者、コーディネーター)
 - 印刷会社等(データ作成, 電子化作業者)
 - 流通業者(システム生成・維持・管理会社)
- 電子化専門書の価格
 - 利用者にのみ有利な価格でもなく, アクターが取りすぎることもない価格で。
 - 電子になってもこれらのアクターと図書館の共存・共栄の關係に

まとめ

- 電子の時代，出版も大きく変容する。
 - 特に専門書出版社において
 - 個々の書籍を作って届ける→専門書群（大学テキスト，参考書，論文集，専門雑誌）の閲覧サービスへ
- 大学図書館
 - テキスト以外の専門書群閲覧サービスの契約主体に
 - 高度に発達した情報検索とリンクサービス，SNS機能を前提とした「場」における「学び」への人的援助も

ご静聴ありがとうございました。

ご質問などは
有斐閣電子メディア開発室
常務取締役・電子メディア開発室長
鈴木道典へ
m-suzuki@yuhikaku.co.jp

資料 1

